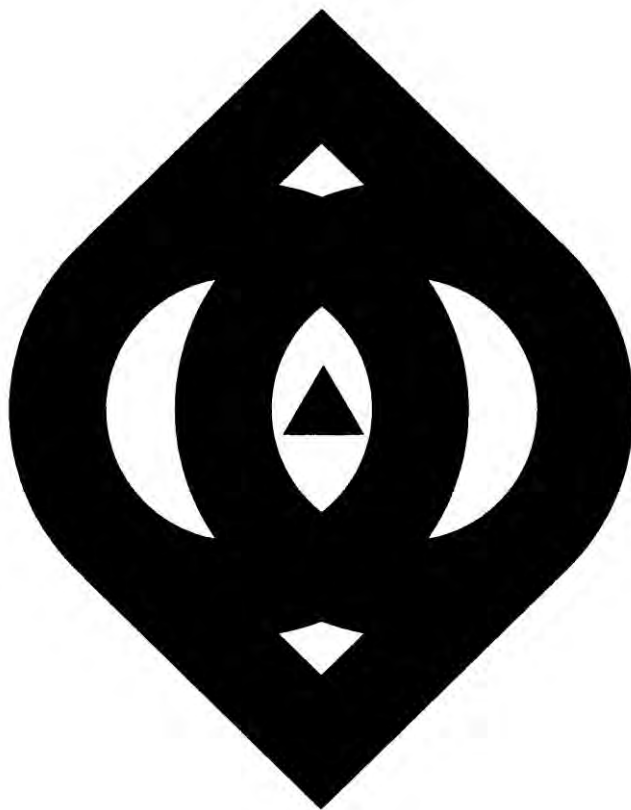


# 第49回



## 同窓会定期総会 新潟県立新津工業高等学校同窓会

【日 時】平成27年 7月25日(土) 18:00~

【会 場】割烹 榊形屋 秋葉区新津本町2-2-16

〈 第49回 同窓会総会 次第 〉

- (1) 開 会 (進行：石黒副会長)
- (2) 同窓会長挨拶 (高塚同窓会長)
- (3) 学校長挨拶 (熊谷学校長)
- (4) 議長選出 (議長： )
- (5) 議 事
  - ・ 一号議案 平成26年度・会務報告
  - ・ 二号議案 平成26年度・会計決算報告
  - ・ 三号議案 平成26年度・会計監査報告
  - ・ 四号議案 平成27年度・役員について
  - ・ 五号議案 平成27年度・活動計画(案)
  - ・ 六号議案 平成27年度・会計予算(案)
- (6) その他
  - ・ 「同窓会50周年記念総会」について
  - ・
- (7) 議長退任
- (8) 閉 会

一号議案

平成26年度会務報告

平成26年

4月 7日 第52回入学式

4月25日 役員会

5月15日 第1回評議委員会

6月 4日 役員会

6月14日 第48回 同窓会総会

会場：榊形屋 18:00～

12月 1日 同窓会報第48号発行

平成27年

2月 9日 第2回評議委員会

3月 2日 同窓会入会式

卒業生からのメッセージ

有限会社カザマ住建 代表取締役 風間 啓一郎 (15M)

参加者 8名

3月 3日 第50回卒業式

二号議案

平成26年度 新津工業高等学校同窓会 会計決算書

1 収入の部

項目	予 算	決 算	比 較	備考
繰越金	3,911	3,911	0	繰越金
会費	858,000	858,000	0	@6,000×143人
広告収入他	60,089	70,833	10,744	新工経営者懇話会様、利息
計	922,000	932,744	10,744	

支出の部

項目	予 算	決 算	比 較	備考
事務費	3,000	9,450	6,450	事務用品、手数料ほか
会議費	8,000	1,000	-7,000	会場使用料
通信費	40,000	53,700	13,700	会報等送料、切手代、 HPドメイン取得使用料
会報	70,000	63,180	-6,820	会報印刷代
新入会員記念品代	150,000	114,642	-35,358	マグカップ
表彰・記念品代	100,000	70,000	-30,000	図書カード ¥5000×14人
同窓会資金	500,000	500,000	0	
予備費	51,000	38,320	-12,680	総会補助 茶室飛翔庵上棟祝い
計	922,000	850,292	-71,708	

差し引き 932,744 - 850,292 = 82,452 円 次年度繰越

H25年度末 利子 H26年度分 H26年度末

同窓会資金 1,450,000 + 169 + 500,000 = 1,950,169

(3号議案)

平成26年度会計監査報告

会則に基づく会計監査を、平成27年5月22日に行いましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1 収支報告	総収入額	932,744 円
	総支出額	850,292 円
	残 額	82,452 円
2 同窓会資金		1,950,169円

3 帳簿についても審査しましたが、各項目別に詳細に記載され、受領証等もよく整理されており正当と認めます。

新潟県立新津工業高等学校同窓会

会 長 高 塚 則 明 様

平成27年 5月 22日

会計監査委員 藤原 繁   
会計監査委員 大野 和也 

四号議案

平成27年度同窓会役員/評議委員/顧問 (案)

会 長	高 塚 則 明 (8e)		
副 会 長	長谷川 貢 (5M)		
副 会 長	笠 原 悦 雄 (6M)		
<b>副 会 長</b>	<b>川 内 勝 (13E)</b>		
副 会 長	石 黒 利 幸 (14e)		
幹 事	阿 部 英 司 (6M)	幹 事	昆 昌 喜 (11e)
幹 事	南 場 恭 夫 (11M)	幹 事	吉 澤 和 久 (13M)
幹 事	堀 田 宏 (20e)	幹 事	斎 藤 靖 (20e)
会 計	島 倉 弘 (6E)		
会 計 監 査	藤 原 繁 (5e)	会 計 監 査	大 野 和 也 (15M)
評 議 員	山 崎 孝 雄 (2M)	評 議 員	高 橋 和 信 (3M)
評 議 員	田 辺 篤 (3E)	評 議 員	楯 富 雄 (3M)
評 議 員	谷内田 秋 雄 (3E)	評 議 員	山 田 啓 一 (4E)
評 議 員	佐 藤 俊 英 (6E)	評 議 員	加 藤 幸 司 (6e)
評 議 員	阿 部 信 裕 (7M)	評 議 員	長谷川 和 夫 (7M)
評 議 員	田 中 重 之 (8e)	評 議 員	土 田 勝 男 (9E)
評 議 員	清 野 謙 二 (10M)	評 議 員	関 口 敬 三 (10M)
評 議 員	佐 藤 克 範 (12E)	評 議 員	佐 藤 仁 是 (13E)
<b>評 議 員</b>	<b>五十田 規 (17E)</b>	評 議 員	星 野 健 司 (18E)
評 議 員	加 藤 知 巳 (20M)	評 議 員	川 谷 勝 俊 (26E)
<b>評 議 員</b>	<b>五十嵐 宏 明 (30S)</b>		
顧 問	小 柳 新 一 (1E)		
顧 問	岡 村 茂 (1M)		
顧 問	間 勇 雄 (1M)		
顧 問	斎 藤 久 (2E)		

## 五号議案

### 平成27年度活動計画案（案）

#### 本年度の活動について

##### 1、同窓会資金の充実について

『同窓会資金の充実』を大きな目標に掲げ、その結果が決算数字として表れてきています。本年度も、母校周年事業等の支援に対し資金不安が起きないように、後援強化を目指し継続して取り組みます。

##### 2、生徒への表彰について

前年度よりスタートした、生徒表彰については、生徒の「やる気・意欲」を推し進めるため、本年度も継続事業とし学校推薦の優秀な生徒に対し、同窓会入会式（卒業時）にて表彰・記念品を進呈します。

##### 3、同窓会報発行について

本年度は、今まで年度後半に発行していた「同窓会報」を、総会の告知が掲載出来るよう発行時期を早めます。

##### 4、同窓会50周年について

来年の同窓会50年を迎えるにあたり、一昨年より評議会・役員会等で検討を進めたとおり、なるべく費用をかけない『同窓会・50周年記念総会』とし開催をしますが、更に内容を詰め、同窓生と学校関係者・来賓の皆様など、大勢の参加者にお集まりいただけるよう検討します。

###### ・記念総会の内容

開催日は、平成28年7月23日（土）としたい。

参加費で充当できる範囲内で、祝賀会ほか詳細内容を引き続き役員・評議員で検討を進め、次回の評議委員会にて決定したい。

###### ・総会参加のお願い

部活動OB会や新工経営者懇話会等、外部組織や在校生保護者の同窓生に参加を働きかけ、会報紙面で総会PRと参加の呼びかけを併せておこないます。

平成27年度 活動計画 (案)

平成27年

4月 7日	第53回入学式
5月25日	第1回 役員会
6月 9日	第1回 評議委員会
6月 下旬	第49号 同窓会報発行
7月25日	第49回 同窓会総会 会 場 榊形屋 総 会 18:00~ 懇親会 19:00~ 会 費 6,000円
12月 上旬	第2回 役員会

平成28年

1月 下旬	第2回 評議委員会
2月29日	同窓会入会式
3月 1日	第51回 卒業式



六号議案

平成27年度 新津工業高等学校同窓会 一般会計予算書

1 収入の部

項目	予算	前年度予算	比較	備考
繰越金	82,452	3,911	78,541	繰越金
会費	798,000	858,000	-60,000	@6,000×133人
総会費	180,000	0		@6,000×30人
雑収入	79,548	60,089	19,459	広告費・利息ほか
計	1,140,000	922,000	218,000	

支出の部

項目	予算	前年度予算	比較	備考
事務費	10,000	3,000	7,000	事務用品、手数料ほか
会議費	8,000	8,000	0	会議出席補助、会場使用料ほか
通信費	70,000	40,000	30,000	会報等送料、切手代、HP維持費ほか
会報印刷費	70,000	70,000	0	会報印刷代
新入会員記念品代	150,000	150,000	0	157名分
表彰・記念品	100,000	100,000	0	資格・技能取得奨励
同窓会資金	500,000	500,000	0	
総会費	200,000	0	200,000	
予備費	32,000	51,000	-19,000	
計	1,140,000	922,000	218,000	

平成27年度 新津工業高等学校同窓会 特別会計予算書（案）

項目	金額	積立金額	備考
平成25年度末積立金	1,450,000		
平成26年度末積立金	1,950,169	500,169	積立資金+利息
平成27年度末積立金	2,450,169	500,000	

# 新潟県立新津工業高等学校同窓会会則

## 【第1章】 総 則

- 第1条 本会は新津工業高等学校同窓会と称し、事務局を新津工業高等学校内に置く。
- 第2条 本会は会員相互の親睦を計り、母校の発展に貢献することを目的とする。
- 第3条 本会会員は下記によるものとする。  
・正会員／母校の卒業生                      ・特別会員／母校の職員ならびに旧職員

## 【第2章】 役 員

- 第4条 本会に次の役員を置く。
- |         |     |                    |
|---------|-----|--------------------|
| 会 長     | 1名  | 評議員会で推薦、総会で承認を受ける。 |
| 副 会 長   | 若干名 | 会長が推薦、評議員会で承認を受ける。 |
| 幹 事     | 若干名 | 会員中より会長が委嘱する。      |
| 会 計     | 1名  | 評議員会で推薦、総会で承認を受ける。 |
| 会 計 監 査 | 2名  | 会員中より選出する。         |
- 第5条 役員任期は2カ年とする。但し再任を妨げない。

## 【第3章】 職 別 及 び 機 関

- 第6条 会長は本会を代表し、一切の会務を総理。必要に応じて評議員会・総会を開催する。
- 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は会長の任務を代行する。
  - 幹事は会長の指示に従い、必要とする事務全般を行う。
  - 会計は本会の会計事務全般を行う。
  - 会計監査員は会計を監査する。
- 第7条 本会には審議機関として評議員会を置き、役員と評議員で構成する。
- 評議員は若干名とし、会員中より会長が推薦、評議員会で承認を受ける。
  - 評議員会は、本会運営に関する総会議案等を審議する。
- 第8条 本会の最高議決機関は総会とし毎年1回これを開く。但し、評議員会の要望により必要に応じて臨時総会を開くことができる。
- 総会では、会則改正・会務・会計など評議員会から提出されたものを審議する。
- 第9条 本会には顧問をおくことができる。顧問は、本会の発展に貢献した者を評議員会で推薦し会長が委嘱する。顧問は会長の諮問に応ずる。
- 第10条 本会員10名以上居住する地区、または職場に支部を設置することができる。

## 【第4章】 会 計 事 務

- 第11条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日とする。
- 第12条 本会の経費は正会員の会費及び寄付金で充当する。
- 第13条 本会の会費は入会金及び特別会費とし、入会金は卒業時に一括納入する。

## 【第5章】 附 則

- 第14条 本会則は昭和41年3月7日より施行する。

昭和45年8月15日改正  
昭和61年12月7日改正  
平成7年11月12日改正  
平成18年11月11日改正  
平成25年6月8日改正

昭和56年11月8日改正  
平成元年11月12日改正  
平成15年10月25日改正  
平成23年7月16日改正